

鐵と鋼 第叁巻 第貳號 大正六年二月

目次

鎔鑄爐研究の第一歩	城 正 俊	一八一
滿洲に於ける舊式製鐵事業の概要	島岡亮太郎	一八五
我國製鋼業の將來とタルボット式製鋼法に就て(承前)		

野上熊二 一九四

拔萃

ニッケル鋼の熔滓に就て	二〇九
鐵以外の金屬冶金に對する電氣爐の應用	二一六
酸素アセチレン熔接法に於ける鎔劑に就て	二二九
内燃機關用鑄物の作り方圖解	二三八

雜錄

◎本溪湖鎔鑄爐に就て◎各國主要造船材料輸入稅率調◎戰時に於ける獨逸製鐵業の趨勢◎南滿洲三十里堡南山鐵鑛產地概況◎鞍子河鐵鑛概況◎萍鄉上珠嶺鐵鑛近況◎英獨米戰後の製鐵事業◎印度銑鐵輸出禁止◎銑鐵禁止影響◎列強工業動員◎

滿洲の製鐵業◎南支那の製鐵業◎北海製鐵創立決定

統計

二九四

商況

三〇七

日本鐵鋼協會記事

三一六

鑛區一覽

内外雜誌主要題目

七一二

附錄 製鐵業に關する技術者及び

職工養成使役の方法

大正六年二月廿三日印刷
大正六年二月廿五日發行
(定價五拾錢)

編輯 東京市芝區三田綱町一番地
發行人 兼 落合 敏三郎
印刷 東京市神田區美土代町二丁目一番地
東京市神田區美土代町二丁目一番地
東京市芝區南佐久間町二丁目九番地
發行所 日本鐵鋼協會
電話 芝五四一三番
振替貯金口座東京一九三番